

4 観光・交流

人口減少や新型コロナウイルスの影響など厳しい状況の中、交流人口の増加や消費の拡大を図るため、新たな三木の観光拠点の整備を進めるこ

とで、ポストコロナ時代に備えたまちの魅力の向上をめざします。



あじさいフローラみき

○「あじさいフローラみき」として条例を設置し、園内の整備を進め、6月にあじさい祭りを開催

山田錦の郷活性化構想

○吉川温泉よかたんや山田錦の館を中心とした吉川地域の活性化を図る山田錦の郷活性化構想を受け、施設の最適な活用案を設計



サイクルツーリズム

○「ひょうごサイクリングモデルルート」として「山田錦の里ロングライドコース」があることから、山田錦の郷や道の駅みきなどの拠点施設にサイクルステーションを整備

○別所ゆめ街道を自転車走行ができるように昨年に引き続き整備

5 まちの経営

将来に負担を残さないために、20～30年先を見据えた公共施設の再配置や行財政運営の効率化

などを進め、持続可能な財政基盤の確立をめざします。

公共施設再配置

○将来の人口規模や市民ニーズにあった公共施設の適正規模・適正配置の推進

行政運営の効率化

○行政事務の見直しなど行政のスリム化を図るため、総務部に「経営管理課」を設置



●令和3年度当初予算にかかる主な事業については、広報みき5月号でお知らせします。

令和3年4月から市役所の組織が一部変わりました

●総務部に「経営管理課」を設置(市役所4階)

●農業振興課に「山田錦振興係」と「地籍調査係」を設置(市役所2階)

2 教育のまち

進行する少子高齢化やグローバル化などの激しい社会の変化に主体的に向き合い、未来を切り拓いていく力が、今の子どもたちには求められています。

地域格差、経済格差のない教育環境を整備し、「我が子の教育を三木で受けさせたい」と思ってもらえるよう、「教育のまち」としての振興を推進します。

学校再編

○児童・生徒数が減少する中、集団の中で多様な考え方に触れることなどを目的に、4月から、志染中学校と緑が丘中学校が統合、中吉川小学校・上吉川小学校・みなぎ台小学校が統合し、「吉川小学校」として開校

○学校の統合に伴うスクールバスの運行や制服の購入補助、部活動を行う場所の整備など、対象児童生徒が新たな気持ちで新学期を迎えることができるよう支援



小中一貫教育

○義務教育期間をトータル9年間で見通し、学力の向上はもとより、未来を生き抜く子どもたちに必要な、主体性、協働性、創造力などを身につけるための学習環境を整備

デジタル教育による深い学び

○1人1台タブレット端末の配備により、個々の習熟度に応じた課題選択、反復学習ができるプリント学習、ドリル学習を推進
○タブレット端末の活用に向けた教員研修の実施とデジタル教材の著作権に係る補償費用の支援

3 雇用の創出

県がひょうご情報公園都市次期工区の事業化を決定しました。新たな雇用創出につながる大規模産業団地の整備に向け、県・市共同事業で整

備を進めます。また、起業家や中小企業への支援を強化します。

企業誘致

○県が次世代型産業団地の開発候補地に選定したひょうご情報公園都市の工事着手へ向け、市では道路や上下水道などのインフラ整備を検討

起業・第二創業の推進

○市内で起業または第二創業をめざす起業家に対し、事業の立ち上げなどに必要な経費の一部を最大50万円補助し、空家を改修する場合は50万円を加算して支援

中小企業などへの支援

○新たなビジネスの展開を促すため、異業種交流

による商品開発や販路開拓に向けた、三木商工会議所への事業支援

